

S I M P L E

6 M E T H O D S

訓練一筋の私たちが就職を全力支援

2 KEY WORDS

極

「就職」×「訓練」の質

全国62か所のポリテクセンターの離職者訓練を通じて
ものづくり分野での就職をお考えの方を責任持ってサポート

J E E D メソッド



1 圧倒的な就職力

メソッド1 就職支援計画によるきめ細かな就職支援

J E E Dの誇れる点はその圧倒的な就職実績。その理由は「入所から修了まで」の就職支援計画を策定し、各受講者の希望に添ったきめ細かな支援を実行しているからです。「履歴書作成支援」、「面接指導」、「就職に役立つ講話」、「オンライン面接」などの支援を就職支援アドバイザーや職業訓練指導員が丁寧に行います。

メソッド2 ポリテク専用の求人情報による企業とのマッチング

J E E Dには多くの企業から人材確保・採用に関する相談・求人が寄せられるため、企業と訓練受講者の架け橋となって直接マッチングを行っています。訓練受講者を採用したい企業による個別説明会の開催や訓練受講者の希望職種・自己PRを個人が特定できない形で一覧としてまとめた「人材リスト」を提供することで、指名求人（採用したい・面接したいといったリクエスト）が多数寄せられ、就職機会に繋がります。

メソッド3 充実した就職支援体制

J E E Dでは求人情報を検索するためのパソコンなどを設けた「就職支援コーナー」を用意しています。個別の就職相談や面接指導といった形で使用することも可能なため、訓練受講者の就職意欲を喚起しながら、就職支援アドバイザーなどが中心にサポートしています。

2 綿密な訓練と丁寧な指導力

メソッド4 就職から逆算した独自の体系によるカリキュラム設計

J E E Dでは仕事に必要な職業能力を産業・業種ごとに丁寧に洗い出し、独自の体系として整理することで就職目標から逆算したカリキュラムを構築しています。また、独自に開発した「システム・ユニット訓練方式」と呼ばれる手法により、訓練単位をあらかじめ段階的・階層的に分割整理することで、短期間に知識と技能・技術を実学一体で習得できるほか、就職目的に応じて訓練内容を柔軟に見直すことが可能となっています。

メソッド5 膨大な調査量に基づく訓練カリキュラムの見直し

J E E Dでは毎年約3,400社の企業に人材ニーズ等の調査を行うほか、様々な調査を実施しており、これらの取組から得られた情報を基にして、全国単位と各施設単位の二段階で訓練カリキュラムの見直しを毎年実施しています。このような地道な取組により、毎年修了者の採用企業からも高い満足度を得られています。

メソッド6 ものづくり未経験でも安心して学べる丁寧な訓練指導

J E E Dが直接養成・育成した技能・技術指導のプロの職業訓練指導員が丁寧に教えるためものづくり分野に不安を感じる方、初心者でも安心して訓練を受講することができます。実際に例年の調査では、受講者のうち約8割の方が未経験職種の訓練を受講されていますが、高い就職率実績を示しており、安心して受講できる環境が整っていることを証明しています。

J E E Dでは「らしく、はたらく、ともに」を合言葉に誠実に地域産業へ貢献するとともに、早期就職支援を実現することをお約束します。

就職支援（キャリアコンサルティング）の取り組みについて

(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構香川支部
香川職業能力開発促進センター



修了日までに就職が決まらない場合も、引き続き就職サポートを実施。

就職支援の取組み

- ・キャリアコンサルティング有資格者である就職支援アドバイザーの配置（2名）。
- ・求人情報を検索用パソコン常設の「就職支援コーナー」の設置。
- ・毎日更新した求人票の掲示。
- ・個人が特定出来ない形で、一覧としてまとめた「人材情報」を送付。
- ・企業説明会の随時実施。
- ・希望に応じて、随時個別面談を実施。
- ・機構独自のノウハウを集積したツールを活用しながらキャリアコンサルティング等、就職支援を実施。(就職支援マップ、就職支援ガイド、就職支援のための取組アイデアBook、早期支援に向けた対応ブック)



就職支援事例 機械・CADオペレーション科 (20代 男性)

①状況

- ・高校卒業後、大学に進学するが、授業で分からないことを周囲に聞くことが出来ず、先生ともうまくコミュニケーションが取れなかったため中退。その後、親族の農業の手伝いを一部行っていたが、7年間未就労。
- ・就職への思いが強くなる一方で、自己肯定感が弱く、気持ちばかり焦っていた状況での入所。

②支援内容

- ・面談を重ねていく中で、農業に取り組んだことで、観察、分析し手順を考える力や忍耐力等、仕事を進める上での素地は備わっていたため、それを本人に伝え、当該科の知識・技能、技術を着実に習得することで自信や就職に繋がることを説明。
- ・訓練で分からないことを周囲に聞くなど、自分からコミュニケーションを取る練習するよう助言。
- ・就労経験がないため、自己紹介書の作成を支援。
- ・自分の伝えたいことを言えるよう、面接指導を実施。

③結果

- ・指名求人5社に応募し、うち1社に正社員（機械設計補助）で採用。

香川大学における 社会人の学びの実態と支援方策

令和6年度 香川地域職業能力開発促進協議会 報告資料
作成者：大村隆史（香川大学地域人材共創センター）

社会人の学びを支える 主な教育課程／講座

【社会人の学びを支える学位取得を目指すプログラム】 ※他の研究科、夜間主などは紙幅の関係で省略。

・創発科学研究科

R4年新設。予見不能な社会課題解決にむけ、分野融合を可能とする高度人材の養成を目指す。入学時に4つの専門分野から軸となる分野を選択し、軸の学びと他分野の学びとを組み合わせながら、自らの研究テーマや関心に基づいて履修する科目を選択する(履修モデルの提案・ユニット制)を導入している。R6年から修士課程→博士前期課程に名称変更。

・地域マネジメント研究科

中四国初のビジネススクール。勉学と研究の仕上げとしてプロジェクト研究がある。プロジェクト研究報告は学術論文の作成に限らず、例えばビジネスプランやケース等の多様な形態がある。厚生労働省「専門実践教育訓練給付制度」によって約90万円の補助あり。

・教職大学院、教職リカレントプログラム

学校力開発・授業力開発・特別支援力開発の3つのコースで構成される。短期履修生制度(教委の推薦、厳正な審査を経て1年間で修了可能)。院生自身が履修計画「履修カルテ」を作成して運用する。修論の作成がなく、実践に基づく研究報告によるまとめを行う。

【学びの意欲を幅広く支えるリカレント専門講座】

・リカレント専門講座の目的

香川大学の地域貢献事業。香川大学教員が講師となり、地域社会の抱える人材育成上の課題解決にむけた各種講座を提供する。学位プログラムよりもライトなプログラムとして、社会人の学習意欲を幅広く支え、将来構想の獲得と行動にむけた教育支援を行う。

・成果と現状(R6年10月末時点)

計14講座(主なテーマ…アントレプレナーシップ、デザイン思考、持続可能性、食品加工、ジオツーリズム、農業、DX、ビッグデータ、AI、資産運用、まちづくりなど)、参加企業・団体総数:142社(団体含む)、受講者総数:190人。受講者アンケートでは、**ネットワークの拡大、さらなる学習意欲・体系的な知識の獲得等**に成果があったとする回答が多い。

【学位プログラムとの接続が可能な履修証明プログラム】

・四国防災共同教育センターが、徳島大学と共同し、履修証明プログラムとして「**四国防災・危機管理プログラム**」を実施。工学研究科(前期課程)のカリキュラムに組み込まれている授業科目12単位の履修を修了要件とし、工学研究科の科目等履修生として受け入れる仕組みをとる。15年間で260名近くが修了。「災害・危機対応マネージャー®」の称号を授与。

・**工学研究科へ進学した場合に単位の読み替えが可能**。修了者が後期課程に進学した実績がある。

・講座の大半がオンライン化されている。厚生労働省「専門実践教育訓練給付制度」によって約15万円の補助あり。

社会人を対象にした 支援制度

【キャリア支援】

- ・**社会人特別入試**(創発科学研究科、地域マネジメント研究科、教職大学院、農学研究科、医学系研究科、夜間主)
出願要件や選抜方法、修了方法、定員の考え方などが異なる。外国語の試験が免除される、修論の代替物の作成など。
- ・**科目等履修生制度、研究生制度**

(科) 特定の授業科目の履修を目的に、選考のうえ入学を許可する制度。試験などの評価を経て、正規課程の単位が修得可能。単位修得証明書が発行される。(研) 指導教員のもとで研究に従事することを目的に、選考のうえ入学を許可する制度。講義等への出席は可能だが、単位の修得は不可能。

【経済的支援】

・教育ローン制度

各行や日本政策金融公庫の各種教育ローンの利用が可能。なかでも百十四銀行「香川大学提携教育ローン」は、無担保・低金利・在学期間中元金返済据え置きなど一般の教育ローンより有利な条件を設定している。詳細は百十四銀行HP。

・入学金、授業料の免除

家計基準と学力基準の判定をうけ、**大学独自制度による授業料免除**（大学院生対象）が利用できる場合がある。

・奨学金

本学の学生生活支援課が貸与型・給付型を問わず情報をとりまとめ、随時HPで公開。**社会人の学び直しを想定した民間団体による奨学金も少なくない。**

【学習支援】

・長期履修制度

就業や家事など修学が困難な場合、履修計画を立てて申請し、標準修業年限を超えて在籍できる(例:地マネは2年→4年まで延長)。授業料は、履修期間にかかわらず原則として2年間に支払うべき授業料総額を3年間又は4年間に分割して支払う。

・大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例

夜間開講が可能な科目については、**社会人学生から要望があれば可能な限り夜間開講とする**。特に、法学系・経済学系領域が提供する科目は、社会人学生の要望に可能な範囲で対応する。

・リサーチペーパー

創発科学研究科では、**学術研究論文とは審査基準を異にする「リサーチペーパー」の作成と提出を社会人学生にのみ認める。**

・リカリスキル教学センター

R4年新設。社会人のキャリアの再構築やリスキリングの支援等を行う。**入学前の指導教員の紹介等も行う。**

リカレント教育と 社会人の学びの概況 (一部) その1

| 学部・研究科 | 在籍人員 | うち社会人 | 学科・専攻 | 備考 |
|-------------------|------|-------|-----------------------------|--|
| 創発科学研究科 (修士課程) | 288 | 17 | 教育・人文系領域 法学系領域 経済学系領域 | 標準修業年限：2年間 入学定員目安：17人（うち 社会人等12人 ） 修了要件：32単位以上 授業時間：平日昼夜・オンデマンド開講 社会人特別選抜出願資格：大卒同等以上・2年以上の勤務経験 学位：修士（教育学・法学・経済学・危機管理学・学術のいずれか） |
| | | | 工学系領域 | 標準修業年限：2年間 入学定員目安：128人（うち 社会人等若干人 ） 修了要件：32単位以上 授業時間：平日昼夜・オンデマンド開講 社会人特別選抜出願資格：大卒同等以上・2年以上の勤務経験 学位：修士（工学） |
| 地域マネジメント研究科 | 66 | 52 | 地域マネジメント専攻 (専門職学位課程) | 標準修業年限：2年間 入学定員目安：30人 修了要件：40単位以上 授業時間：平日昼夜・オンデマンド開講 出願資格：大卒同等以上 学位：経営学修士（専門職） |
| 教育学研究科 | 37 | 12 | 高度教職実践専攻 (専門職学位課程) | 標準修業年限：2年間 入学定員目安：20人 修了要件：47単位以上 授業時間：平日昼夜・オンデマンド開講 出願資格：大卒同等以上・教員免許取得 学位：教職修士（専門職） |

※R5年度時点

リカレント教育と 社会人の学びの概況 (一部) その2

| 実施部局 | プログラム名称 | 履修期間 | 単位 認定 | 証明 書 | 称号 授与 | 参加 人数 | 備考 |
|-------------------------------|--------------------|-------------------------------|----------|---------|----------|----------|--|
| 地域人材共創 センター | リカレント専門講座 | 1講座あたり 約10～20時間 (3～10回) | 無 | 有 | 無 | 48名 | 実施時間帯：講座による 出願資格：無 費用：3,000円/1時間 (30,000～60,000円程度) |
| | 公開講座 | 1講座あたり 約3～20時間 (3～10回) | 無 | 有 | 無 | 572 名 | 実施時間帯：講座による 出願資格：無 費用：5,000円前後 |
| 四国防災共同 教育センター | 四国防災・危機管理 プログラム | 2年間 | 有 | 有 | 有 | 8名 | 称号名称：災害・危機対応マネージャー 実施時間帯：平日夜間、土曜 出願資格：大学卒業程度 費用：検定料・入学科・授業料（12単位）の総額 215,600円 |
| 各学部 各研究科 大学教育基盤 センター | 科目等履修生 | 1年以内 | 有 | 有 | 無 | 30名 | 実施時間帯：履修する授業科目による 出願資格：(学部) 高卒程度/(研究科) 大学卒業程度 費用：検定料9,800円 入学科28,200円 授業料14,800円 (1単位あたり) |

※R5年度実績

ご案内

【受講者募集】リカレント専門講座

住民主体の観光地域づくり ～共感ツーリズムで秘境から桃源郷へ～

出尾宏二氏（「DMOそらの郷」元事務局次長）を講師に迎え、「地域に暮らす人たちのための、持続可能な観光」について考えます。地域の隠れた資源に価値を見出し、人々と地域がHAPPYになる観光のあり方を描いてみましょう。

アントレプレナーシップ入門講座 ～事業計画作成編～

アントレプレナーシップ（起業家精神）に関する基本的な知識を理解し、具体的なケースについて、課題解決や事業創造・計画づくり、事業計画書への落とし込みなど、参加者がアントレプレナーシップを発揮する体験を通じて、地域との関係性構築、地域活性化に貢献しうる手法を身につけた人材を育成することを目的とします。

詳細は「地域人材共創センター」HP、またはお手元のチラシもご参照ください。

【催事のご案内】

産官学連携交流会 「なんがでつきよんな香川」

テーマ：社員の成長
～社会人の学びと支援を考える～

産学官の関係者が一堂に会し、相互理解を深め、さらなる発展を指す交流会「なんがでつきよんな香川」を開催。

社員の成長の重要性や大学等が実施する社会人の学びへのサポートについては、その現状と可能性、さらには社会人の学びに対する国の支援等を講演・パネルディスカッションの形でご紹介いたします。さらに懇親会にて産学官さまとくぐらうトを持つ方々と自由に交流ください。

企業の経営者・人事ご担当者、スキルアップに興味のある方、大学教職員/学生、自治体職員など、どなたでもご参加いただけます。

詳細は「大学・地域共創プラットフォームかがわ」HP、またはお手元のチラシを参照ください。

2024年度 香川大学リカレント専門講座

住民主体の 観光地域づくり

～共感ツーリズムで秘境から桃源郷へ～

本講座では出尾宏二氏（「DMOそらの郷」元事務局次長）を講師に迎え、「地域に暮らす人たちのための、持続可能な観光」について考えます。地域の隠れた資源に価値を見出し、人々と地域がHAPPYになる観光のあり方を描いてみましょう。

講義

2024 **12.5** [木] 18:00～21:00

地域に価値を生み出す ブランディングによる戦略的な取組

本講座全体のガイダンスと
徳島県三好市祖谷地区における
観光の取組事例を解説します。



— 共感と交流による観光について —

現地視察

2024 **12.14** [土] 10:00～16:00

徳島県祖谷地区にて視察学習 バスで徳島に向かい現地を視察します！



地域の「お婆ちゃん」たちが生き生きと交流のプレイヤー！

講義

2025 **1.9** [木] 18:00～21:00

地域の資源からコンテンツと ストーリーを生み出す

特定の「地域資源」を
共通素材とし、グループ
ワークを行います。



— ポスターワークの体験 —

講義

2025 **1.16** [木] 18:00～21:00

地域資源で観光づくり、地域づくり グループで考察した内容を発表

特定の「地域資源」を共通
素材とし、グループワークを
行います。まとめ、発表後に
講評を行います。



— ローカルファーストで考える —

※裏面にプログラムの詳細を記載しています。

受講料 **39,000** 円(税込) 2024年**11月29**日(金) 締切 募集人数**15**名
オンライン受講についても、ご相談ください。

お問い合わせ・申し込み方法

香川大学地域人材共創センター

TEL: 087-832-1493 FAX: 087-832-1357
E-mail syogse@kagawa-u.ac.jp Webサイト <https://rhrd-center.kagawa-u.ac.jp/>

下記のURL、または右の二次元コードを読み取り、
お申し込みください。

<https://forms.office.com/r/AWU7pCHYAT>



2024

12.5 [木]
18:00~21:00

講義

地域に価値を生み出すブランディングによる戦略的な取組 ～ 共感と交流による観光について～

- ガイダンス
- 過疎化・高齢化が進む徳島県三好市祖谷地区における観光の取組事例

冒頭で本講座全体のガイダンスを行います。その後、出尾宏二氏（「DMOそらの郷」元事務局次長）から、過疎化・高齢化が進む徳島県三好市祖谷地区における観光の取組事例について解説いただきます。後半には受講生の自己紹介を兼ねたディスカッションを行います。

2024

12.14 [土]
10:00~16:00

現地視察

徳島県祖谷地区にて視察学習 地域の「お婆ちゃん」たちが生き生きと交流のプレイヤー！

- 視察学習（祖谷のかずら橋、古式そば道場都築商店、歩危マート他）

出尾宏二氏の案内で、交流とライフスタイルへの共感を地域資源に新しいツーリズム創造の現場で「持続可能な観光地域づくり」と資源価値の共創を考えます。



2025

1.9 [木]
18:00~21:00

講義

地域の資源からコンテンツとストーリーを生み出す ～ ポスターワークの体験～

- グループワーク（ポスター作り）

特定の「地域資源」（例、栗林公園）を共通素材とし、グループワークを実施します。地域資源に価値を見出し（価値づけをし）、コンテンツとストーリーを考えてポスターづくりに取り組みます。（第4回に向けた宿題の説明と資料を配布します。）

2025

1.16 [木]
18:00~21:00

講義

地域資源で観光づくり、地域づくり ～ ローカルファーストで考える～

- グループワーク、発表

(1) 地域資源の発掘
(2) 地域ポリシー（観光、地域振興の目的）の検討
(3) ポリシーを実現する地域資源による観光づくり（資源の価値づけからコンテンツ、ストーリーづくり）に取り組みます。
これらをまとめて発表し、最後に講評があります。

- 四国ツアーズ地域コーディネーター 出尾 宏二 (DMOそらの郷 元事務局次長)

昭和34年6月28日 徳島県小松島市生まれ65歳。 昭和53年4月国鉄四国総局入社、昭和60年4月四国旅客鉄道株式会社（JR四国）、ワーブ徳島支店副支店長を経て平成25年4月から一般社団法人そらの郷事務局次長として入社、観光庁の認定する観光地域づくりマネージャーとして13年間活動してきた。令和6年6月そらの郷を定年退職し、株式会社地域ソリューションパートナーズ徳島支社アドバイザー、四国ツアーズ株式会社地域コーディネーターとして中四国をフィールドにインバウンド誘客、観光地域づくりに多くの地域と関わっている。

- 原 直行 香川大学経済学部 教授
- 吉澤 康代 香川大学地域マネジメント研究科 教授
- 西村 美樹 香川大学地域マネジメント研究科 特命講師

講師名



出尾 宏二氏



香川大学

過去に開催されたりカレント専門講座は右記の二次元コードからWebサイトにアクセスできますのでぜひご覧ください！



2024年度 香川大学リカレント専門講座

アントレプレナーシップ入門講座

事業計画作成編

香川大学で起業家精神について学んでみませんか？

本講座では、アントレプレナーシップ（起業家精神）に関する基本的な知識を理解し、具体的ケースの検討をし、課題解決や事業創造・計画づくり、事業計画書への落とし込みなど、参加者がアントレプレナーシップを発揮する体験を通じて、地域再生や地域活性化とアントレプレナーシップの関係について学習します。地域との関係性構築、地域活性化に貢献しうる手法を身につけた人材を育成することを目的とします。

| | | |
|---|--|--|
| <p>2024 12/6 金</p> <p>第1回 18:20~19:50 ガイダンス</p> <p>第2回 20:00~21:30 創造プロセスとは</p> <p>アントレプレナーシップの必要性や 関心テーマの計画を行う</p> | <p>2024 12/13 金</p> <p>第3回 18:20~19:50 事業構想の創造</p> <p>第4回 20:00~21:30 プランの創造</p> <p>事業構想の基本知識の理解と 具体的ケースに取り組む</p> | <p>2024 12/21 土</p> <p>第5回 13:00~14:30 創造と パーソナリティスタイル</p> <p>第6回 14:40~16:10 創造するチームづくり</p> <p>創造プロセスに繋がるチームワーキング</p> |
| <p>2025 1/10 金</p> <p>第7回 18:20~19:50 プランの創造</p> <p>第8回 20:00~21:30 ピッチに向けた準備</p> <p>具体的な計画作りと プレゼンテーションに向けた準備</p> | <p>2025 1/25 土</p> <p>第9回 13:00~14:30 ピッチとフィードバック</p> <p>第10回 14:00~16:10 ピッチとフィードバック</p> <p>チームで取り組んだ成果について プレゼンテーションを行い フィードバックを得る</p> | |

※参加人数が少ない場合は、チームではなく個人でのワーク、プレゼンテーションになることをご了承ください。

※裏面にプログラムの詳細を記載しています。

受講料 36,000円(税込) 2024年 11月29日(金) 締切 募集人数 15名

お問い合わせ・申し込み方法

香川大学地域人材共創センター

TEL: 087-832-1493 FAX: 087-832-1357
E-mail syogse@kagawa-u.ac.jp Webサイト <https://rhrd-center.kagawa-u.ac.jp/>

下記のURL、または右の二次元コードを読み取り、お申し込みください。

<https://forms.office.com/r/nr9354pBiz>



2024
12/6 金



第1回 **ガイダンス** 18:20~19:50

アントレプレナーシップの定義を整理し、起業に関わる先行研究状況、世界と日本のアントレプレナーシップの状況を学習します。

第2回 **創造プロセスとは** 20:00~21:30

グループを編成し、アイデアシート作成演習（個人ワーク、チームワーク、発表）を行うチームビルディングを体験します。

講師名 ▶ 沼田 秀穂 地域マネジメント研究科 客員教授 大和大学政治経済学部 教授

第3回 **事業構想の創造** 18:20~19:50

事業構想の基本知識を理解し、各チームの関心テーマ及び計画したい事業内容について、課題を共有します。

第4回 **プランの創造** 20:00~21:30

事業構想に向けて、各チームで「課題の把握・分析」「解決に向けた創造」に取り組みます。

講師名 ▶ 山本 靖 地域マネジメント研究科 特命教授

2024
12/13 金



2024
12/21 土



第5回 **創造とパーソナリティスタイル** 13:00~14:30

MBTI（性格タイプテスト）を用いて自分と他者についての理解を深め、チームワーキングのためのよりよい関係性づくりを考えます。

第6回 **創造するチームづくり** 14:40~16:10

チームとグループ・組織の違いを整理し、チームワーキングが求められている背景を理解します。

講師名 ▶ 吉澤 康代 地域マネジメント研究科 教授

第7回 **プランの創造** 18:20~19:50

アイデアを「事業計画書」に落とし込むポイントを理解し、チームに分かれて「解決に向けた創造」「具体的な計画づくり」に取り組みます。

第8回 **ピッチに向けた準備** 20:00~21:30

チームに分かれて「具体的な計画」をブラッシュアップし、最終回の準備に取り組みます。

講師名 ▶ 山本 靖 地域マネジメント研究科 特命教授 篠原 啓祐 Success arts Consulting 代表 / Setouchi-i-Base コーディネーター

2025
1/10 金



2025
1/25 土



第9回 **ピッチとフィードバック** 13:00~14:30 14:40~16:10

ピッチとは、短い時間の中で不特定多数の人を相手にプレゼンテーションをする手法です。分野に関して全く知識がない人もいることを想定し、分かりやすく、心を動かすプレゼン能力を身につけることを目標にします。

講師名 ▶ 中村 正伸 地域マネジメント研究科 研究科長 山本 靖 地域マネジメント研究科 特命教授
吉澤 康代 地域マネジメント研究科 教授

対象 20代後半~40代前半のビジネスパーソン（チームリーダー・主任・係長クラス等）

受講方法 対面・オンライン（申込時に希望を入力）

修了証書授与 全10回中7回以上の出席で修了証書授与



過去に開催されたりカレント専門講座は右記の二次元コードからWebサイトにアクセスできますのでぜひご覧ください！



産学官連携交流会

「なんがでっきょんな香川」

今回の
テーマ

社員の成長

～社会人の学びと支援を考える～

- ◆日にち：11月22日（金）
- ◆会場：香川大学オーリーブスクエア
- ◆内容

第1部（15:00～16:00）

- ・講演
- ・パネルディスカッション

第2部（16:00～17:00）

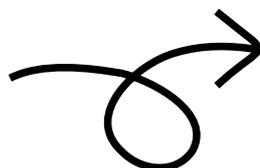
- ・懇親会

- ・参加無料

※第2部参加者は当日会場にて500円頂戴いたします。

- ・企業の経営者・人事担当者、スキルアップに興味のある方、大学や自治体関係者など、どなたでも参加いただけます。
- ・先着100名様となります。空きがある場合は、当日参加も可能ですが、事前の参加者登録をおすすめします。

参加者登録は
こちらから



リンク

(香川県電子申請・届出システム)

第1部

◆講演

講師：百十四銀行 コンサルティング部 池内 彩 氏

【講師経歴】

入行9年目。社内プログラムにより、香川大学にて、リカレント専門講座を受講。現在、同大学大学院 地域マネジメント研究科に在籍。

受講のきっかけや、なぜ大学？何を学べる？業務にどう活かしている？等の疑問について、企業 / 受講者目線で講演いただきます。

◆パネルディスカッション

「次のステージへ踏み出す学び：社会人のための教育サポート」

○コーディネーター 兼 パネリスト

香川大学地域人材共創センター 講師 大村 隆史 氏

○パネリスト（予定）

- ・徳島文理大学 副学長・理工学部教授 梶山 博司 氏
- ・高松大学 経営学部教授・学部長 藤原 泰輔 氏
- ・香川労働局 職業対策課 課長補佐 片岡 千晶 氏

県内大学等で実施している社会人向けの取組みや、今後可能性のある分野、リスキングの最新の動きや補助メニューなどをパネルディスカッション形式でご紹介します。

第2部

◆懇親会

県内大学・短期大学・高等専門学校のご担当者も参加予定です。参加者間でご自由にご交流ください。

お問い合わせ

香川県政策部地域活力推進課 総務・地方創生グループ

Tel：087-832-3105 Email：tb7398@pref.kagawa.lg.jp

大学・地域共創プラットフォーム香川